

みずほ総合研究所経済調査部長 太田智之 様

＜経済・産業・金融への影響＞

見えない不安・未知への恐怖が経済活動を下押し

○ 深さ（どれだけ落ちるのか）

- ・自粛ムードの高まりなどによる国内需要の落ち込みや生産活動の停滞

○ 長さ（いつまで続くのか）

- ・感染拡大防止策とのトレードオフ（強力な対策をとれば収束までの期間は短い）

○ 広がり（どこまで波及するのか）

- ・資産価格の急落や調達金利の急上昇（＝信用収縮）、雇用調整や賃金抑制

※ 感染再拡大のリスクは拭えず、その場合はダウンサイドリスクあり

＜日本経済に及ぼす影響＞

○ 日本経済を下押しする主要経路は、

- ①消費自粛によるサービス需要減（対個人サービス、宿泊・娯楽業、運輸・郵便業）
- ②中国の供給途絶・需要減、③円高（電子部品や電気機械、機械類）

○ 飲食店、宿泊業、娯楽業は、非正規が過半数を占めるため、需要減による雇用への影響が出やすい

⇒ 経済対策を打つ場合は、個々の事業に合った実施のタイミングが重要

慶應義塾大学客員教授（東京財団政策研究所研究主幹） 小林慶一郎 様

新型コロナウイルス対策をどのように進めるか？

株価対策、生活支援の給付・融資、社会のオンライン化による感染防止

＜都における経済対策の案＞

○ 感染拡大の防止

- ・オンライン診療の普及など

○ 経済的インパクトの軽減

- ・家計への無審査の生活資金融資（マイナンバーカードで管理）

○ 長期的な産業構造変化の促進

- ・社会のデジタル化への支援
（行政サービス、教育、就労、企業活動などの環境整備への補助）
- ・事業転換の支援策、事業主の引退支援
- ・事業承継の支援